



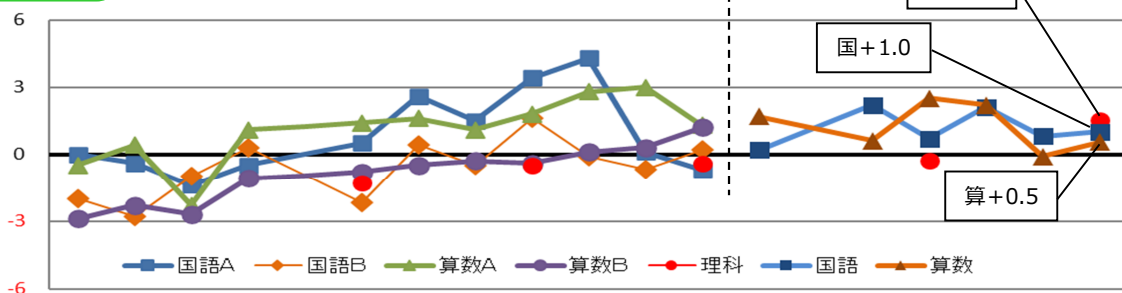
Topics 1

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について

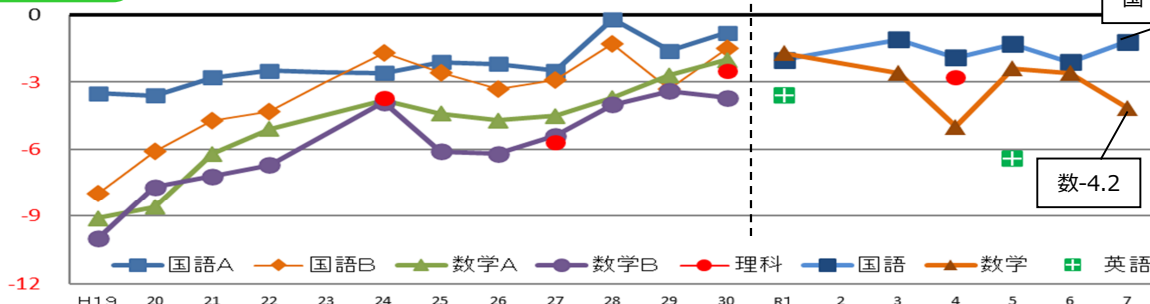
本年4月14日から4月30日の期間に実施した全国学力・学習状況調査の結果が7月14日及び7月31日に公表されました。悉皆調査としては15回目、抽出調査を併せると17回目の調査となります。

● 教科に関する調査の結果（全国平均正答率との差） ●

小学校



中学校

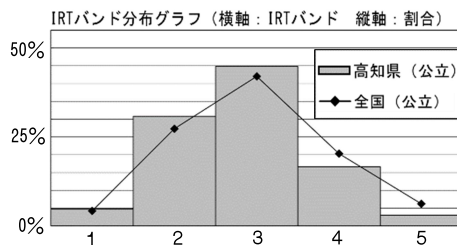


※縦軸は全国の平均正答率との差をポイントで示している。（平成23年度の全国の値はない。）

※平成31年度（令和元年度）よりABが統合。※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により調査を中止している。

中学校 理科 平均IRTスコア		
	高知県（公立）	全国（公立）
令和7年度	483	503

※中学校理科は、IRTにて実施された。IRTとは、各設問の正誤が、問題の難易度によるのか、学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力を推定する統計理論であり、500を基準にした得点で表すもの。また、IRTバンドは3を基準とし、5が最も高いバンド（帯）。



- ・小学校は、全ての教科において、全国平均を上回る結果となりました。昨年度課題の見られた算数や、前回の令和4年度に調査が実施された理科についても改善がみられます。
- ・中学校は、国語・数学ともに全国平均を下回る結果となりました。数学においては、昨年より差が大きくなっています。理科は、平均IRTスコアを5段階に分けて表したIRTバンドの1から3の割合が全国よりも高く、バンド4と5の割合は低い結果となりました。

● 授業改善による成果 ～ 基礎的な技能の定着 ～ ●

【例 小学校 算数 大問3（4）】

$\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$ を計算しましょう。

高知県正答率	出題の趣旨
86.3%	異なる分母の加法の計算をすることができるかどうかをみる

< 分析・考察 >

今年度は、「知識・技能」の観点で全国の平均正答率を上回る成果がみられている。特に、異分母の分数のたし算、棒グラフから読み取るなどの正答率が8割を超えている。授業や家庭学習において、基礎的な技能の定着が図られていることがうかがえる。

- ・単元で求められる知識・技能が一人一人に身に付いているかどうかをしっかりと把握する取組を継続し、デジタルドリルなどの学習データの活用も効果的です。



● 学習指導における課題 ～ 証明を読むこと ～ ●

【例 中学校 数学 大問9（2）】

図2のように、図1の平行四辺形ABCDの辺CB、ADを延長した直線上に、 $BE=DF$ となる点E、Fを取っても、四角形AECFは平行四辺形になります。このことは、証明1の一部を書き直すことで証明できます。書き直すことが必要な部分を、証明1のAからオまでの中から1つ選び、正しく書き直さない。

図1

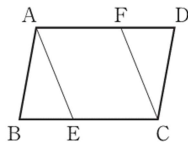
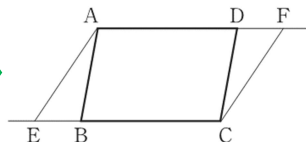


図2



< 誤答のポイント >

- ・証明1と図2を関連付けて、書き直す部分を捉えることができない。
- ・書き直す部分を捉えることができても、辺の長さの関係を正しく表現することができない。

< 分析・考察 >

あらかじめ書かれている図形の証明を、条件を変えた場合に図形と関連付けて読み、評価・改善することに課題がみられる。証明で書かれている数学的な用語や表現について、習得した知識を活用するなかで理解を深めていくことが重要である。

授業改善のポイント



◎個々の生徒の理解の状況を把握し、伸ばす指導を充実させる。

- ①生徒が「何が理解できているか」、「どこでつまづいているのか」を把握する。
- ②生徒同士が互いの表現の違いを比較・検討するなど、数学的な表現を見直す機会を設定する。
- ③個々の学習状況に応じた学び直しの機会を適宜設定し、改善点を示すなどのフィードバックを行う。

- ・生徒質問調査「文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、書かれていることを理解することができる」の項目に肯定的に回答した生徒ほど、数学の正答率が高いという相関がみられています。このことから、証明や説明を読んで理解できるようにすることが大切です。

高知県正答率	出題の趣旨
27.9%	統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することができるかどうかをみる

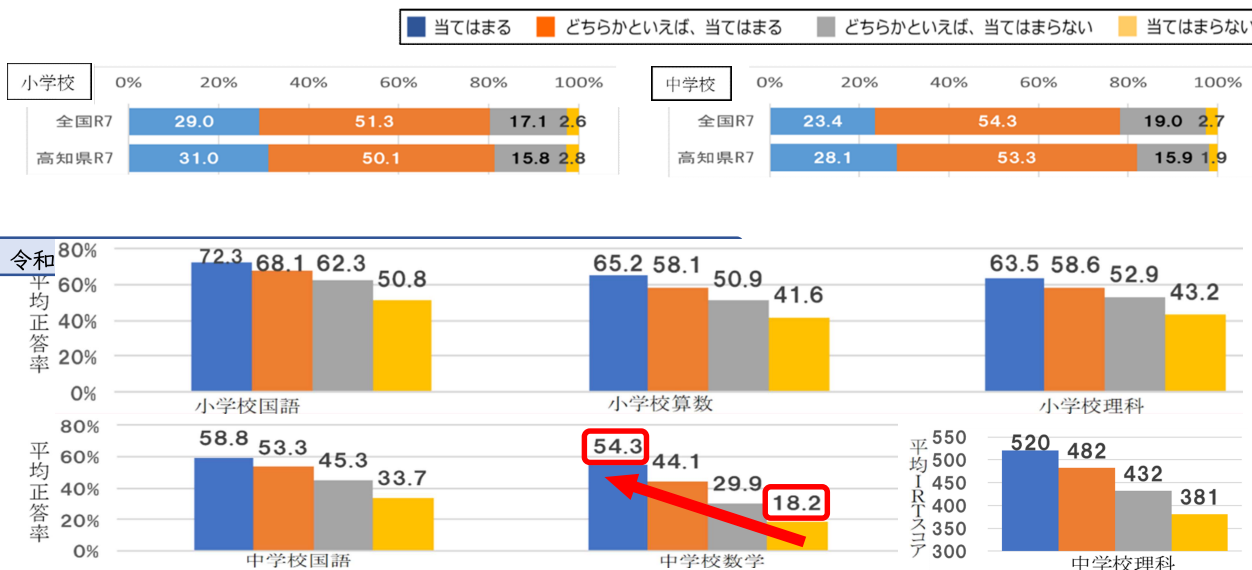
証明1

ア	平行四辺形の向かい合う辺は平行だから、 $AD \parallel BC$ よって、 $AF \parallel EC$ ……①
イ	平行四辺形の向かい合う辺は等しいから、 $AD = BC$ ……②
ウ	仮定より、 $DF = BE$ ……③
エ	②、③より、 $AD - DF = BC - BE$ ……④
オ	④より、 $AF = EC$ ……⑤
	①、⑤より、 1組の向かい合う辺が平行でその長さが等しいから、 四角形AECFは平行四辺形である。

● 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ●

【児童・生徒質問調査（32）】

授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



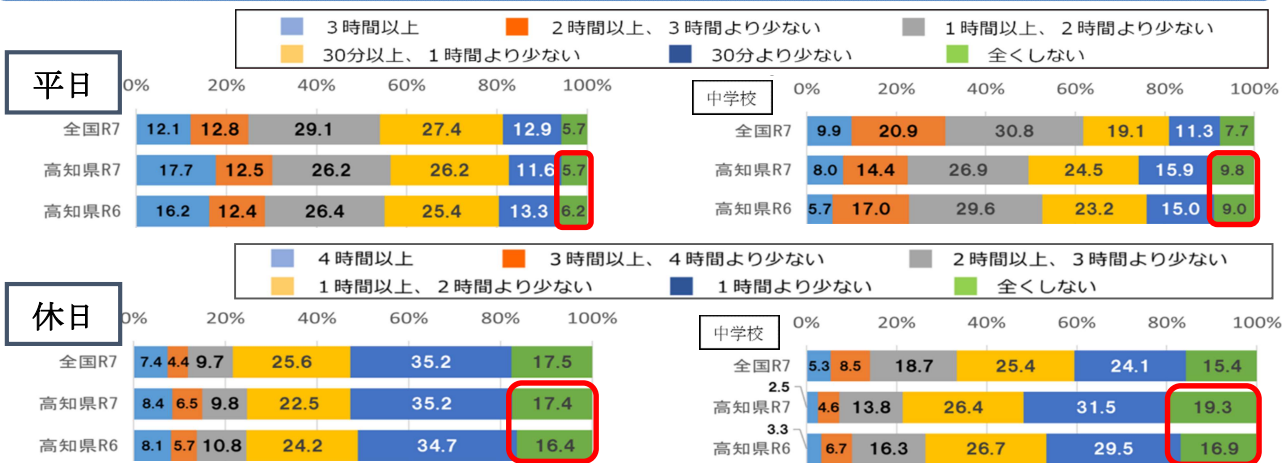
- ・上段の全国平均との比較の横棒グラフをみると、児童・生徒ともに、肯定的に回答した割合は、全国を上回っています。また、下部の質問項目と正答率との相関のグラフをみると、肯定的に回答した児童生徒ほど、正答率やIRTスコアが高い傾向がみられ、特に数学の正答率の差が大きくなっています。
- ・課題を自分のこととして捉え、主体的に取り組もうとすることが、学力の向上につながると考えられます。

● 学習習慣に関して ●

【児童・生徒質問調査（17・19）】

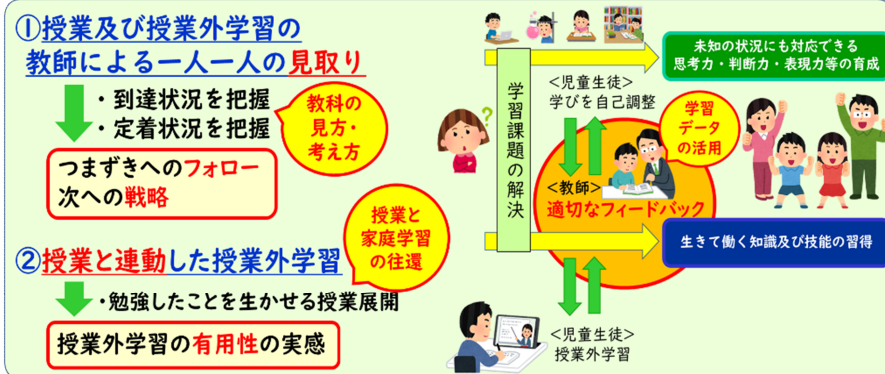
学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

（学習塾で勉強をしている時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



- ・学習習慣の定着については、これまでに引き続き課題がみられます。平日の授業外の勉強時間では、中学生の「全くしない」と回答した割合が9.8%で昨年度を上回っており、年々増加しています。この傾向は、休日においてもみられます。小学生においても「全くしない」と回答した児童が一定数みられています。

● 「自律した学習者」の育成に向けて ～ 授業と授業外学習の充実 ～ ●



- ①目指す資質・能力の育成につなげていくためには、授業及び授業外学習での子どもの到達状況や定着状況をしっかりと把握することが大切です。
- ②授業と授業外学習を連動させることで、学習意欲の高まりや学習習慣の定着にもつながりやすくなります。

教職員の皆様へ

今回の調査結果からは、「深い意味を伴った理解」、「目的に応じて文章を読み取ったり、図と関連付けて読み取ったりする力」や、「教科の見方・考え方を働かせながら筋道を立てて考え、根拠を基に表現する力」に課題があることが分かりました。

また、「課題を自分のこととして捉え、主体的に取り組もうとすることが、学力の向上につながっている」ことも分かりました。

子どもを主語にした授業や授業外の学習を充実させるために、以下の点について組織全体で共有し取り組んでいただきますようお願いいたします。

- ・「問い」が子ども自身のものとなっている
- ・子どもが問題解決のプロセスを振り返って確かめている
- ・教師による一人一人の見取りによるフォローと次への手立てが適切である
- ・子どもが学んだことを活用したり探究したりしている
- ・子どもの学びが深まったり広がったりしている

県教育委員会では、今回の調査結果を踏まえて学力向上の取組をさらに進めていきます。

各学校の教職員の皆様には、一層の授業改善や教育活動の充実を図っていただくようお願いいたします。



詳しくは小中学校課ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/312301/>



問い合わせ

小中学校課 教育支援第二担当

TEL : 088-821-4735

高知県高校生防災サミット 第2回学習会（8月21日）が開催されました

8月21日（木）に高知県高校生防災サミットの第2回学習会が高知県立青少年の家の大集会室にて行われました。

講師に、高知地方気象台 地域防災係長 重岡昌嗣さんと日本赤十字社 高知県支部 吉岡邦展さんをそれぞれお招きしました。重岡さんからは「災害時の情報活用について」というテーマで講演いただき、実践校の参加者の皆さんは、気象台から発表される情報とその活用方法について学ぶことができました。防災気象情報の基本は「天気予報」ということで、天気の変化に気をつけながら、危険が迫る前に避難することが重要であることをお話いただきました。

また、吉岡さんからは「国内災害救護について～能登半島地震の活動より～」というテーマで、日本赤十字社が日ごろどのような活動をし、能登半島地震の際にはどのような役割を果たしたのかについてお話いただきました。参加者の皆さんは、今まで知らなかった日本赤十字社の活動に触れ、「いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ります」というその信念から、人道的な視点をもって防災に取り組むことの大切さを学ぶことができました。

続いて、吉岡さんから「ひなんじょたいけん」という演習で、避難所運営についてゲーム形式で学びました。参加者は6～7人のグループに分かれ、カード形式で次々とやってくる避難者やイベントをグループで話し合いながら、配置や対応をどうするかなどの問題を解決していきました。ゲーム終了後、振り返りを行い、もう一度ゲームを行うことで、避難所を運営する際に配慮しなければいけないこと、注意しなければいけないことなどを学びました。この学習会を通して、発災後にどのようなことが必要になってくるのか、各々でイメージする姿が見られました。



高知気象台 重岡さん



日本赤十字社 吉岡さん



演習「ひなんじょたいけん」の様子



令和6・7年度実践校

室戸高校
高知東工業高校
大方高校
宿毛工業高校

令和7・8年度実践校

窪川高校
高知国際高校
中村高校
四万十高校



詳しくは学校安全対策課ホームページをご覧ください。
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/312301/>



学校安全対策課 学校安全担当
TEL：088-821-4533

令和7年度視聴覚教育・情報教育功労者表彰（文部科学大臣表彰）

視聴覚教育・情報教育功労者表彰は、多年にわたり、学校教育又は社会教育における視聴覚教育・情報教育の振興に功績のあった方を表彰することで、今後の視聴覚教育・情報教育の発展に資するものです。

高知県からは、以下の方が被表彰者として決定され、令和7年9月29日に東京で表彰式が開催されました。

これまでのご尽力に深く感謝申し上げますとともに、今後のさらなるご活躍を祈念いたします。

氏 名	所 属	功 績 概 要
市原 俊和 氏	土佐市立高岡中学校	教諭時は、校内ネットワークの構築やICT活用の研究を重ね、社会科副読本のデジタルコンテンツ化や共有環境の整備を中心に進めた。また、高知市でのGIGAスクール構想の実現に向けた1人1台端末の導入、授業改善や基礎学力の定着等、課題改善に向け尽力するなど、多年にわたり学校や教育行政において本県情報教育の普及・推進に尽力した。

全国高等学校ビブリオバトル 2025 高知県大会 参加者募集！！

「全国高等学校ビブリオバトル 2025 決勝大会」への出場権をかけて、高知県内の高校生を対象にした高知県大会をオーテピア高知図書館で開催します。ビブリオバトルは、お気に入りの本を持ち寄り、その本の魅力を紹介する知的書評合戦です。優勝者は令和8年2月に東京都で開催予定の決勝大会に招待されます。

発表者としてビブリオバトルに参加することで、本への理解が深まり、スピーチ力も磨かれます。観戦者として参加する方は、いま読んでみたいと思える本に出会えるかもしれません。

ビブリオバトル高知県大会ルール概要

※詳細は、ウェブ・サイトにて参加要項をご確認ください。

- ① 発表者が読んで面白いと思った本を持って集まる。紹介する本は雑誌・漫画以外。
- ② 順番に一人5分間で本を紹介する。
- ③ それぞれの発表の後、発表者・観戦者全員でその発表に関するディスカッションを2分間行う。
- ④ 全員の発表が終了した後に、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を発表者・観戦者全員で行い、最多票を集めたものを「チャンプ本」とする。



申込方法

発表者

・メール (teens@library.kochi.jp)

【発表者の申込期間】

令和7年10月5日(日)～10月26日(日)

※定員の16名に達し次第、受付を締め切ります。

観戦者(一般の方もお申込できます)

・メール (teens@library.kochi.jp)
・インターネット (高知県電子申請サービス)
・電話 088-823-4946 (代表番号)

【申込期間】

令和7年10月5日(日)～11月2日(日)

※定員の70名に達し次第、受付を締め切ります。

全国高等学校ビブリオバトル 2025 高知県大会

【開催日】 **令和7年11月9日(日)** 13:00～16:30

【場 所】 オーテピア4階 ホール・研修室

【対 象】 発表者……高知県内の高等学校に在籍している者 (高知工業
高等専門学校に在籍の者は高校3年次相当まで)

観戦者……どなたでも

【定 員】 発表者……16名

観戦者……70名



昨年度の高知県大会の様子



詳しくはオーテピア高知図書館ウェブ・サイトをご覧ください。

<https://otepia.kochi.jp/library/event.cgi?id=20250710094701s87ak7>



オーテピア高知図書館

TEL : 088-823-4946

高知県教育の日「志・とさ学びの日」(11月1日)の推進について

本県では、毎年11月1日を高知県教育の日「志・とさ学びの日」、11月1日から7日までを「とさ学びの週間」と定め、県民の皆さまが教育について知り、考えるきっかけづくりとなる取組を行っています。

市町村教育委員会や各学校等においても、「志・とさ学びの日」に関連した様々な取組を実施していただいているところですが、さらに、この日の趣旨の浸透を図り、教育的な風土づくりにつなげていくため、引き続き下記の取組へのご協力をよろしくお願いします。

【教育関係者の皆さまへ】

▶ 関連行事への位置付け等について

主として11月前後(10月から12月)に開催される行事のうち、趣旨に合致するものを高知県教育の日「志・とさ学びの日」関連行事として位置付け、右記のロゴマークを看板や案内文書等に明示して周知いただくようお願いします。

なお、次年度の行事計画の立案にあたって、可能な範囲で11月1日から7日(とさ学びの週間)前後、または10月から12月での実施となるよう、ご検討をお願いします。



「とさまなチャンネル」で
みんなの学びを紹介!



【市町村教育委員会の皆さまへ】

▶ 教育関連データの公表について

市町村の広報誌等に、各地域の教育関連のデータ(例:到達度把握調査、生活習慣、体力、読書の状況、子どもの心の状態、学校評価など)を可能な範囲で掲載していただき、住民の皆さまが地域の教育について知り、考える機会を提供していただくようお願いします。



詳しくは教育政策課ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310101/>



教育政策課 教育企画担当

TEL: 088-821-4731

「こうち留学フェア」を開催しました!

「こうち留学」とは、県外の生徒の皆さんに高知県の高等学校に入学していただき、高知県の豊かな自然や食文化、そして地域の人たちと関わりながら高校生活を送るという取組です。地域の活性化にもつながるこの取組を推進するため、令和7年7月20日に東京都で、7月21日に神奈川県川崎市で、8月3日に大阪府で「こうち留学フェア」を開催しました。

「こうち留学フェア」では、全国生徒募集中の県立高校10校がブースを出展し、学校説明を行ったほか、こうち留学中の生徒や卒業生による高知県の魅力やこうち留学の理由などが聞けるセミナーなど、「こうち留学」の魅力を紹介しました。

各ブースにはのべ95組199名の方にお越しいただき、県外の中学生やその保護者の方々に高知県の県立高校を知っていただくよい機会になりました。



📺 こうち留学の受け入れ校紹介動画を YouTube チャンネル「とさまなチャンネル」にて順次公開しています!



高知海洋高等学校
「大好きな海とともに」



清水高等学校
「それぞれの想いを
全力で応援する学校」



幡多農業高等学校
「自然と馬から学ぶこと」



詳しくはこうち留学ホームページをご覧ください。

<https://kochi-ryugaku.kochinet.ed.jp/>



高等学校振興課 魅力化推進担当

TEL: 088-821-4542

～高知県心の教育センターの居場所支援～

高知県では、全ての子どもたちが安心して学び、自立できることを目指した「高知家の子どもたちが誰一人取り残されない学びを保障するためのガイドライン」を策定しました。

その取組として、学校への通いづらさを感じたり、集団で過ごすことに不安がある子どもたちを対象に、心の教育センターでは2つの居場所を開設しました。

現在利用している子どもたちは、自分ができるところを見つけて過ごしたり、スタッフや他の参加者との交流を楽しみながら、【自分の居場所】として過ごしています。

こころオンラインサポート ～メタバースの学びの場～

♪メタバースを使ったオンラインでの学習支援や交流活動の場

開催日：火・木・金曜日 13:30～16:30

対 象：学校や教育支援センターに継続して通うことが難しい
小中高生～学籍の有無にかかわらず 18歳まで

内 容：学習アプリでの自主学習、タイピングやプログラミングの
練習、動画や映像の視聴、交流イベント



県教委 YouTube
チャンネル「とさま
なチャンネル」でも
メタバースの紹介
動画を公開中！



※アバター（自分の分身として動くキャラクター）を使って参加します。
※会話は「音声」「チャット」から選べます。

Kochi Teens Base ～中高生等の居場所～

♪心の教育センターと高知県立大学が連携して進める自主学習や、興味関心のある取組への支援や交流活動の場

開催日：金曜日 13:30～16:30

対 象：集団で過ごすことへの不安や、学校等への通いづらさを感じている中高生～学籍の有無にかかわらず 18歳まで

内 容：自主学習への支援、ボードやカードゲーム、パソコンやタブレットでのメタバース体験、イベント交流、スタッフや高知県立大学の学生ボランティアとの交流など

場 所：高知県立大学 永国寺キャンパス地域連携棟 1階



学生ボランティアや
スタッフと楽しく
過ごすスペース！



自分のやりたいこと
を行いながら、自分
のペースで過ごすス
ペース！

利用の流れ

打合せ面接の予約

利用に向けての打合せ面接

見学・体験

利用に向けての確認

利用登録・利用開始

※利用にあたっては、いずれも上記の流れとなりますが、まずは、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

※こころオンラインサポート希望者の打合せ面接については、実施方法を柔軟に対応します。

※利用登録後は学校と連携し、定期的に情報共有を行います。



詳しくは高知県心の教育センターのホームページをご覧ください。
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/311902>



高知県心の教育センター
TEL : 088-821-9900

第10回高知県特別支援学校技能検定（8月1日）が開催されました

県では、特別支援学校で学ぶ生徒が、職業科等の授業を通して身につけた技能等を、専門的な視点から評価及び認定する、高知県特別支援学校技能検定を実施しています。

高知大会（8月1日）、幡多大会（7月16日）の2会場で【清掃サービス部門】【接客サービス部門】を開催し、各校において【情報部門】の検定も実施しました。

今年度は、県内12校の特別支援学校から169名（のべ236名）の生徒の参加があり、36名の生徒が1級に認定されました。本番では、どの生徒も検定という緊張感の中、それぞれの受検種目に挑み、学校でしっかり学習してきた成果を出し切りました。また、高知大会、幡多大会のそれぞれの会場で、企業の方に向けた見学会を開催し、特別支援学校の生徒が、検定に懸命に取り組んでいる様子を見学していただきました。

9月19日には、高知会館において認定証授与式が行われ、各部門で1級に認定された生徒に、県教育長より認定証が授与されました。



(幡多大会)



(高知大会)



(認定証授与式)



詳しくは、特別支援教育課ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/311001/>



特別支援教育課

TEL : 088-821-4741

とさまなチャンネルに投稿した動画のご紹介♪

▶ 高知家走力向上計画 ～目指せ、スピードスター～



県教委がやりゆう「出前講座」の中から「正しい走り方教室」を紹介！ぼくも速く走れるようになりたいな～。



↑
高知家走力向上計画
の動画はこちらから

▶ デジタル版「みらいスイッチ」誕生！



デジタル版「みらいスイッチ」は、子どもたちが『なりたい自分』について、考えを深めやすい教材ながやって！高知県で活躍しゆう人のお話も聞けるみたい！気になる～。



↑
みらいスイッチの
動画はこちらから



詳しくはYouTubeチャンネル『とさまなチャンネル』をご覧ください。

<https://www.youtube.com/@user-dx7bm9tn8h>



教育政策課 教育企画担当

TEL : 088-821-4731

<発行者> 高知県教育委員会事務局教育政策課

TEL : 088-821-4731 FAX : 088-821-4558 E-mail : 310101@ken.pref.kochi.lg.jp

高知県教育委員会 WEB サイト : <https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/>

※本広報紙への感想やご要望がございましたら、発行者までお寄せください。

